

平成 25 年度第 3 回浦安市学校給食センター運営委員会の要旨

- 1 開催日時 平成 26 年 2 月 12 日（水曜日）午後 2 時～午後 3 時 30 分
- 2 開催場所 浦安市消防庁舎 3 階多目的ホール
- 3 出席者等
 - (1) 出席者（委 員） 北川会長、鈴木副会長、佐藤委員、宍戸委員、岡委員、石山委員、今関委員、山本委員、大前委員、大塚委員、門井委員、中谷委員、山下委員、田邊委員 14 名
(事務局) 米本教育総務部長、角田教育総務部次長
第一・第二調理場 吉田所長、板倉副主幹、宇田川副主査、宇都木栄養士、田中栄養士
第三調理場 長島所長、宮崎副主幹、林田栄養士、吉田栄養士
 - (2) 欠席 1 人
 - (3) 傍聴人 無
- 4 議 題
 - (1) 学校給食用食材放射性物質検査事業（平成 25 年 4 月から平成 26 年 1 月）の検査結果
 - (2) 学校給食安心対策事業（給食まるごと 1 食検査）の検査結果
 - (3) 平成 25 年度学校給食の提供に伴う異物混入（4 月から 12 月）の報告
 - (4) 平成 25 年度食育に関する学校給食センターの取組みについて
 - (5) 平成 26 年度浦安市学校給食センター運営計画について
 - (6) その他
- 5 会議経過

開催に先立ち、教育総務部長より挨拶があり、その後、議事に入った。概要は次のとおり。

 - (1) 学校給食用食材放射性物質検査事業（平成 25 年 4 月から平成 26 年 1 月）の検査結果について事務局より説明をした。
委員からの質問および意見は特になし。
 - (2) 学校給食安心対策事業（給食まるごと 1 食検査）の検査結果について事務局より説明をした。
委員からの質問および意見は特になし。
 - (3) 平成 25 年度学校給食の提供に伴う異物混入（4 月から 12 月）の報告について事務局より説明をした。
委員からの質疑は次のとおり。

(委 員) 製造業者が加工中に虫等の異物を混入させた場合、工場内の消毒回数を増やすと説明を受けたが、容器も含めて回数を増やしたのか。
(事務局) 容器の洗浄も含めて、再発防止のため衛生管理の見直しを行うよう、業者に指示している。このため短期間に異物混入を繰り返すことはない。
 - (4) 平成 25 年度食育に関する学校給食センターの取組みについて
委員からの質疑は次のとおり。

(委員) 今年度の授業支援について何校も実施しているが、授業支援の回数は昨年と比べ増えているのか。

(事務局) 給食センターで行っている授業支援については、各学校から依頼され給食を通じた食育の指導や支援を実施している。

また、保健体育安全課でも各教科や総合的な学習などにおいて食育に関する指導や支援を行っている。

なお、給食センターが昨年実施した授業支援の回数については、平成 25 年度と同程度となっている。

(委員) 給食センターが行っている授業支援については、食育の中の一部であり重要な側面を担っている。

食育の支援については、学校によって差が生じていると考えるが、給食センターには出来る限り実施していただきたい。

(事務局) 食育の支援については、教育委員会内の各部署で連携して実施しており、今後についても、引き続き実施していく。

(5) 平成 26 年度浦安市学校給食センター運営計画について
委員からの質疑は次のとおり。

(委員) 平成 26 年 4 月から消費税率が引き上げられるが、給食費については料金改正を行わず据え置くことを予定しているとのことだが、給食の食材の質を下げ給食を提供することとなるのか。

(事務局) 給食費の改定は、最近では平成 21 年度に値上げを行っている。

当時の改定では 17 年ぶりに給食費の値上げを実施したが、主な理由は、①原油価格の高騰、②穀物のバイオ燃料化、③世界的な食糧の逼迫といった事情から小麦や牛乳をはじめ給食食材の価格上昇が続き、給食センターの創意工夫による児童・生徒の栄養必要量の確保が困難な状況となり、給食の質の維持を図る上で値上げを行ったものである。

給食センターとしては、今回、消費税率の変更があっても食材費用を抑えながら、献立を工夫して給食の質を維持する対応を行っていく考えである。

値上げを予定する場合には、浦安市学校給食センター管理運営規則の規定に基づき、諮問させていただく。

(6) その他

本日の会議を踏まえた委員からの意見は次のとおり。

(委員) 全国的に発生しているノロウイルスについては、集団で被害があったとマスコミで報道されているが、浦安市の給食センターでも緊張しているのだろうと思うが、浦安市では被害がなく感謝している。

(委員) 私の子供から聞いていることは、嫌いな食材の場合は給食を残すと知っているが、学校給食センターでは、残滓を減らすため各学校へ出向き、児童・生徒に栄養バランスの大切さや残滓を減らす説明をしていると聞いている。

(委員) 保護者の立場では、日ごろ給食センターがバランスの良い献立作成や食育の支援に努力していることは知らなかった。

学校給食センター運営委員になったことから、給食について勉強させていただいた。

(委員) これからも安全でおいしい給食を提供していただきたい。

(委員) 衛生管理やアレルギー対応等の要求がレベルアップされているが、学校給食センターは課題を乗り越え、今後も丁寧に給食提供していただきたい。

(委員) 給食について、養護部会を通して連携を図っていききたいと思う。

(委員) 各学校に給食センター職員が学校訪問を行っており、残滓を減らす等の努力をしている事は理解していた。

学校給食センター運営委員会に出席して感じたことは、私達にもなにか出来るのではないかと、今後、学校で話し合いたいと感じた。

(委員) 私は、第二回運営委員会から委員として参加したが、給食センターの施設説明や舞浜小学校の児童の喫食状況について見学した。

私の時代と全く違い、衛生面など子供達には素晴らしい環境であると感じた。

(委員) 私が一番興味があるのは、ノロウィルスの食材を通しての感染とアレルギー問題であるが、学校給食センターは真摯に対応しているなど感じた。

ノロウィルスについては、基本衛生で習う、手をきちんと洗うことを児童・生徒に指導していきたい。

また、教育委員会は、アレルギーを持つ児童・生徒にエピペンを持たせるなど対応を適切にしていると思う。

給食を食べる児童・生徒には、給食を提供するには沢山の人が携わっていることを伝えられたらと思っている。

(委員) 私は、子供が中学校を卒業するため、今回が最後の運営委員会となるが、これからも安心して安全な給食を提供していただきたい。

(委員) 今年はインフルエンザとノロウィルス予防として、家庭での協力を得ながら、手洗いとうがいを学級担任が率先して努力している。

インフルエンザについては、今も流行しており、私の学校では1クラスが学級閉鎖したが、今後が心配である。

(事務局) ノロウィルスの件では、センターの調理委託業者である、企業に書面でノロウィルスの予防策等を提出させている。

調理委託業者は1月に自主的にノロウィルス検査をしており、全従業員がすべて陰性となっており、また、感染が疑われる従業員がいる場合にはノロウィルス検査キットを常備していることから、検査する体制を取っている。

市職員についても、2月中にはノロウィルス検査を実施する予定としており、給食センターと調理委託業者は常に安全を目指している。